

「子ども・若者のまちづくり参加は、
”子ども・若者”と”まち”に何をもたらすのか？」



開催日時：2021年1月23日（土）14:00～16:00

参加者：39名（運営6人、話題提供者含む）

話題提供者：土肥潤也さん

（NPO法人わかものまち 代表理事
日本シティズンシップ教育フォーラム運営委員）



2021年初回のスタディ・スタヂオでは市民を育てる「まちづくり」について注目し、まちづくりが子どもと若者、対象となる「まち」にどのような影響を与えるのかについて考えていきました。今回は実際に様々な地域の子どものまちづくりへの参加に関わっている土肥潤也さんから話題提供していただき、話題提供をもとに議論を深めていきました。

土肥さんからの話題提供では、まず、日頃土肥さんが関わっているNPOでの「まちづくり」の取り組みの紹介をいただきました。その上で、「まちづくり」の前提や概要について説明をいただいたのちに、子ども・若者のまちづくり参加のねらいについて、日本における子ども・若者参加のこれまでと現状などについて、これまでの土肥さんの活動や研究を踏まえお話をいただきました。なお、話題提供の中で土肥さんより提示された「まちづくり」の考え方と、子ども・若者のまちづくり参加に関する論点は以下の3つです。

まちづくり：「自分たちの住みたいまちを、自分たちでつくる/守る 営み」

論点① 子ども・若者のまちづくり参加は、子ども・若者やまちに、なにかをもたらさなければいけないのか？

論点② 子ども・若者のまちづくり参加の成果とは何なのか？

論点③ なぜ子ども・若者のまちづくりを推進する必要があるのか？

話題提供の後には3～4人のグループに分かれ、提示された論点を踏まえて話題提供の内容を噛み砕き、感じたことや疑問に思ったことを整理し、最後は全体に戻って各グループの噛み砕きを共有して質疑応答へ。「まちづくりについての知識は必要なのか」「大人との意思疎通をどのように図っていくのか」「まちづくりへの参加のハードルが高く、どのようにフォローしていくのか」など、多くの疑問が各グループより提示されました。

今回は会に先立ち、土肥さんから「なんのために子ども・若者のまちづくりが必要なのかをもっと考えてみたくなる」という目標が提示されましたが、話題提供と参加者による噛み砕きによって、多くのもっと考えてみたい疑問が生まれたのではないのでしょうか。これらは今回で全て解決できるものではなく、今後参加者の皆様が各自で持ち帰ることになります。J-CEF 及びスタディ・スタヂオでは、皆さんが持ち帰って深めた内容を共有したり対話できたりするような仕組みづくりも進めていきつつ、シティズンシップ教育に関するテーマについて考えてみたくなるような機会を今後も設けていきます。

運営：伊藤真琴・斉藤仁一郎・浜田未貴・古野香織・別木萌果 報告：小田切瑞生